

Poco Pap Poco ぽこあぽこ

「その人らしさ」

地域支援課課長 吉田 丈夫

以和貴会の法人理念である『人として当たり前の暮らし』と『その人らしさ』を追求します。

私は日々の相談支援の業務の中で『その人らしさ』ってどういうことだろうと考えるよう心がけています。なぜか？希望や悩みをありのままに表現することはどんな人であっても容易ではありません。まして、意思を表現すること自体に困難さを抱える人たちと関わるのですから、その気持ちをくみ取することを大事にしなければならぬからです。まず、相手のどの部分に『らしさ』を感じるのか考えてみます。『らしさ』を自分に置き換えた時に『私らしさ』とは何だろう？自分が思っている『私らしさ』と他者が感じている『私らしさ』はきっと違うでしょう。『その人らしさ』は他者との関係性において成立するものです。他者との関わりが知らず知らずのうちにそのイメージが作られていくからです。私たちが支援する障がいのある人たちも、一人ひとりが「言葉」「行動」「表情」などのいろいろな方法で『その人らしさ』を表現されています。そこで『らしさ』を自分に置き換えたことを思い返し、その人自身が考える『らしさ』と周囲が感じる『らしさ』を互いに擦り合わせ、真の『その人らしさ』、『その人の思い』を知るために御本人の声(声なき思い)に耳を傾け、関係を築いていくことが必要と考えています。

また、「支援」において大切なことは相手に寄り添いつつ、変化もするであろう『らしさ』を知るための関わりを積み重ねていくことにあると考えています。

さて、以和貴会では今年度の法人方針の一つとして「変革 (change)」を掲げ、ご利用者の支援について、専門性の向上に向けた取り組みを実践しています。その取り組みの柱として高い専門性を持つ外部機関・講師と提携し、スーパーバイズ (支援・環境を向上させるための監督・指導) を受けていることをご紹介させていただきます。児童期の支援では、自閉症の教育・支援「EACHプログラム」を専門に研究されている川崎医療福祉大学特任講師の重松孝治氏に、成人期の支援部門では「自閉症eサービス」の代表中山清司氏を中心に、ご指導を賜っております。先生方には実際に事業所に来訪していただき、各部署で行っている支援の内容や実際に支援を行っている環境を見ていただきました。そのうえで、先生方の具体的な助言にしたがって、支援の方法や考え方について研修や実践を行い、再度評価をいただくなどし、継続的に取り組んでいます。この取り組みが、ご利用者の生き生きとした生活や活動につながり、その人らしさを発揮していただくことにもつながればよいと考えています。

地域事業活動紹介 (近況報告)

以和貴会では、短期入所、日中一時支援、児童・生徒のための放課後等デイサービス、ケアホームの運営や相談支援といった、地域の方々にご利用いただく事業を行っています。それぞれの活動内容を簡単にご紹介いたします。

相談支援センター しえ〜く

しえ〜くでは、ご本人様が主体の安心できる地域生活を過ごせるようにお手伝いするのが第一の活動ですが、それ以外の活動も行っています。先日は西和養護学校に通う児童・生徒の保護者・ご家族の主催された「ぼれぼれ地域活動勉強会」に参加いたしました。今回は「障がい者差別解消法について」と「福祉サービスの利用にあたっての基礎知識について」という2つのテーマを設けての勉強会であり、「福祉サービスの利用にあたって」という部分を担当いたしました。「差別解消法」については奈良県福祉圏域のうち、「中和圏域」の圏域弁護士でもある荒木秀夫先生がご担当されました。



勉強会にはお忙しいなか会場の席が埋まる程たくさんの保護者の方々が参加され、質問や相談も織り交ぜての質疑応答において、様々な悩みや希望を知り、今後の課題について考える機会となりました。これからも有意義な情報提供ができるよう日々研鑽していかねば、という意欲がわいてくる経験でした。

短期入所・日中一時支援・放課後等デイサービス コテージ・コテージJr



コテージ・コテージJrでは、児童・生徒向けの放課後等デイサービスと、子供たちだけでなく成人の方にもご利用いただける日中一時支援事業・短期入所事業を行っています。地域にお住まいの障がいをもった方々に安らげる場所の1つとして幅広く利用いただけるよう、ご本人様、ご家族様のニーズに沿った支援を心掛けております。外出活動やレクリエーション、工作、おやつ作りにも取り組んでいます。左の写真は、畑での水やりの様子です。じょうろを使ったこと

なかった子供さんも、上手に水やりができるようになりました。

8月には、例年の行事として曾爾高原へ宿泊学習に行きました。川遊びをしたり、食事を自分たちで用意したり、今年もたくさんの思い出ができました。右側の3枚の写真はその時の様子です。毎年違った経験を通じてご利用者もスタッフも成長しているのが実感できます。次年度も充実した宿泊となるよう取組みたいと考えています。



放課後等デイサービスセンター HUG・LIVE（はぐ・らいぶ）

はぐらいぶでは、一人一人の成長段階に合わせた療育活動を行うため、年齢によってHUG（小学1年生から6年生まで）LIVE（中学1年生から高校3年生まで）の2つのクラスに分けて活動しています。身辺自立や余暇支援などの生活支援活動のほか、生まれ育った地域の中で楽しみや喜びを感じつつ、「その人らしい」生活を営むことができるよう、「持っている力」を引き出すための療育活動をおこなっています。利用者様の趣味や興味を中心に個人のペースで楽しめることを考えた支援を行っています。



また、月に一度、土曜日に実施している外出活動は皆さんが楽しみにしてくださっています。今年度は今までに近隣の公園への外出、信貴山のどか村でのぶどう狩り、海遊館見学、カラオケ大会などを実施しました。



ケアホーム の あ



ケアホーム「のあ」は、共同生活を行う住居であり、地域において自立した日常生活を営む上で重要な食事・入浴・排泄等、日常生活上の支援を行っています。世話人6名がおり、そのうち、毎日3名ずつ3部屋に分かれて、それぞれ食事の用意をしたり、入居者の方と団らんの時間をとったりと、家庭的な雰囲気を作り出しています。

食事では、入居者の方のリクエストを取り入れたメニューや季節の食材を用いた料理を作ります。時には入居者の方と一緒に餃子を作るなどの料理をすることもあります。



また、余暇活動として調理実習をしたり家庭菜園で野菜を育てたりする中で様々なことを入居者の方とスタッフとがともに学んでいます。家庭菜園で育てた野菜を調理実習や夕食の材料として使用することもあります。



すみれの里 活動紹介



誕生会

平成 25 年 9 月 1 日より香芝市から『すみれの里』の管理・運営を以和貴会が引き継ぐことになりました。ご利用様は現在 16 名。従来の活動に加え、ご自分のペースや体調に合わせて畑での農作業や BDF (バイオ・ディーゼル燃料) 作り・石鹸作り等の日々の活動にスタッフとともに参加しておられます。また、ボランティアの方の来所も多く、音楽・クラフト・朗読会・喫茶等の活動をご利用様はとても楽しみにしておられます。

【日中活動】

ご利用様が安心して活動できる場を提供し、楽しみながら生活リズムを整え、健康の維持や趣味・生きがいを探求していただくことを目的としています。

午前には訓練室にてリハビリを兼ねた軽作業を行い、午後は、多目的スペースを利用してのリズム体操やカラオケ、近隣への散歩等にご利用様全員で行い気分転換や健康の増進に努めています。『その人らしく、その人なりの人生を支える』ため、ご利用様に寄り添った支援を行うべく、必要に応じて入浴訓練や水浴訓練の実施、ボランティアの方々との積極的な交流を行い、開かれた施設を目指しています。



クラフト活動
ボランティア様と共に



みんなで散歩 車に気をつけて



リズム体操

【環境班】

畑 (農作業)

今年の 6 月より植え付けを始めたばかりの畑です。この畑では一般的な農薬を使用せずに野菜を育てています。害虫防除には酢や重曹、木酢液等を使用し、畑で出る野菜くずやすみれの里で出る食事の残りを堆肥化するなど、安心安全な農業、循環する農業を目指しています。

畑では除草・収穫・水やりといった軽作業を中心に、ご利用様の体力やスキルに応じた仕事をしていただいています。仕事を通じて体力に維持に加え四季の流れや自分たちで野菜を育てる喜びを感じて頂きたいと考えています。



BDF



「環境にやさしく」をモットーに活動しています。香芝市の学校や地域を回って廃食油を回収し、BDF (バイオディーゼル燃料) を精製します。出来上がった燃料は香芝市の公共バスやパッカー車等の燃料として使用していただいています。

また、地域に指定の回収場所を設けてペットボトルを回収し、リサイクル業者に引き取ってもらっています。

職員紹介

新しい一歩を踏み出したすみれの里。
引き続いての勤務の職員も新しい職員も
同じように新鮮な気持ちで頑張ります。
どうぞよろしく願いいたします。



いとう ゆか
井藤 由賀

新生すみれの里がスタートして約
2ヶ月が経ちました。また初心に戻っ
て頑張っていきたいと思いますので、
どうぞよろしく願いいたします。



ひろなが ゆきこ
廣長 由紀子

9月より以和貴会になり新しいスタ
ッフが増えました。新しい気持ちで皆
と一緒に利用者の方が楽しく過ごせ
るすみれの里を作っていきたいと思
います。



ふじお ちえみ
藤尾 千恵美

9月2日より、新しくすみれの里が
スタートし、2か月が過ぎました。新
たな気持ちで頑張っていきますので、
よろしく願いします。



たなか かつあき
田中 克明
(契約社員)

9月から勤務させて頂いています。
利用者様に楽しく過ごして頂ける事
を心掛けて支援に携わりたいと思
います。どうぞよろしく願いします。



さわだ はちろう
澤田 八郎
(契約社員)

香芝市による運営時代から引き続き
勤務する事になり早2ヶ月。利用者さ
んの不安や緊張感を少なくし楽しく
安全に過ぎて頂ける様、スタッフが1
つになって頑張っていきますのでよ
ろしく願い致します。



やまぞえ やよい
山副 弥生
(看護師)

9月から勤務させて頂いていま
す。利用者様が安全に楽しく過ご
せるよう頑張っていきたいと思いま
すので、よろしく願いいたします。



たなか まゆみ
田中 真弓
(看護師)

働き始めて2ヶ月、不慣れな点も多
く、日々勉強の毎日です。支援業務に
かかわることも初めての経験で戸惑
っておりますが、一日も早くお役にた
てるように頑張りますのでよろしく
願いします。



ふくしま みほこ
福島 美保子
(アシスタント)

9月より勤務させて頂いていま
す。まだ毎日の流れについていく
ので精一杯ですが、利用者さんに寄
り添った支援ができるよう、頑張っ
ていきたいと思えます。よろしくお
願いします。



みよし ゆか
三好 有香
(アシスタント)

9月からパートとして勤務していま
す。仕事のこと、利用者さんのこと、
わからないことはたくさんありますが、
できることに対して自分なりに精
いっぱい取り組んでいきたいと思っ
ています。よろしく願いします。

芸術展入賞

今人・我楽のご利用者様たちが、相次いで芸術展において入賞されました。アート活動はご利用者様の個性を生かし、可能性を開拓することが目標ですが、公募展への入賞はご本人のみならず他の利用者様にとっても大変励みになります。今後のアート活動の発展に大いに期待が持てると思います。



ビッグアイアートプロジェクト 2013 入選！

我楽さぼーと班の三谷晃平さんが、さぼーと班のアート活動では初めて「ビッグアイアートプロジェクト」入選されました。審査員は美術界では名の通った先生ばかりで、応募者多数の超難関の中、晃平さんの作品の良さを見出していただき、非常に嬉しく思います。この作品は「捨てるものでも何か役に立てることはないか」をコンセプトに、内職で出た廃材を利用して制作したものです。



題「my favorite, melon」

かんでんコラボアート 21 入選！

今人をご利用の山口裕樹さんが、関西電力主催「かんでんコラボアート 21」に入選されました。アート活動班「それいゆ」としては、9年ぶりとなる快挙です。この作品は、内職の廃材を利用して制作されたものです。山口さんご本人の頑張りもさることながら、応援してくださる皆さんの力の結集の結果だと思えます。ありがとうございました。



題「proliferation II」

二科展デザイン部準入選！

我楽さぼーと班・西谷光世さんが二科展デザイン部に出展された作品が準入選に選ばれました。プロのデザイナーの集団の中に応募し、しかも今回が初応募でここまで来られたこと、西谷さんの頑張りに加えて皆様のお力添えのおかげと感謝いたします。



題「ボク、オウムの O-chan」

来年以降は入選を目指してさらに頑張ってくださいと思います。

ポストカードデザイン大賞受賞！

我楽さぼーと班の西谷光世さんが、第 11 回ポストカードデザイン大賞に入選されました。左の記事でお分かりの通り、二科展デザイン部と合わせてダブル受賞の快挙です。ポストカードデザイン大賞入選は 2 年連続、今回で 3 度目となります。西谷さんが楽しみつつ、とても頑張って制作された結果です。



題「ボクの宝物」

以和貴会 新入職員紹介

すみれの里の職員以外にも以和貴会に新しい仲間が増えました。



たかまつ こうじ
高松 孝次
所属 ゆらくの里
入所支援事業担当

入社して1か月の高松です。ご利用者様の笑顔を見たい一心で介護の仕事を選びました。初心を忘れることなく、ぶれのない仕事をしたいと思います。一緒に笑顔になれるように、皆さんよろしくお祈りいたします。



さきやま よしひで
先山 佳秀
所属 ゆらくの里
生活支援事業担当
(アシスタント)

ゆらくの里に勤務して、3ヶ月が経ちました。入所されている皆様ひとりひとりの顔と名前、そして性格を理解して、皆様が楽しい毎日を過ごせるように頑張ります。



はしもと ゆき
橋本 有紀
所属 ゆらくの里
管理部 (アシスタント)

9月より事務職として勤務しております。利用者様の生活や職員の方々の業務が円滑に運ぶよう、頑張りたいと思います。



やまぐち
山口 こずえ
所属 しえ〜く
(アシスタント)

9月からボノボビルで事務職として勤務させて頂いております。分からない事ばかりで緊張の連続です。少しでもお役に立てる仕事が出来れば、と思っています。



なかお としひろ
中尾 俊浩
所属 我楽 (モンステラ)

10月からモンステラカフェのパン職人として勤務しています。早くお客様を把握し、これまでの経験・知識・技術を生かし、利用者様と共に売上向上に努めたいと思っています。よろしくお願いいたします。



さかぐち しゅうこ
阪口 秀子
所属 我楽 (さぼ一と)
(アシスタント)

9月に入社したばかりですが、個性的な利用者様との出会いを嬉しく思っております。日々の喜びを感じて頂ける支援ができるよう精いっぱい頑張ります。



たけむら ひろみ
竹村 公美
所属 今人 (そーじや)
(アシスタント)
この度『今人』に入職しました
竹村です。

たくさんの利用者様とふれあい、楽しく過ごせるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

精いっぱい頑張ります。

よろしくお願いいたします。



ゆらくの里が「デマンド交通」の共通乗降場所に指定されました

10月から香芝市が新しい公共交通「デマンド交通」の試験運転を開始しました。利用者の予約に応じて自宅付近もしくは共通乗降場所まで自動車が迎えに行き、希望する乗降場所まで送ってもらうことができます。

香芝市在住で、市役所危機管理課に利用者登録を済ませた方が利用できます。ゆらくの里も共通乗降場所になっております。香芝市在住の方はご利用になってみてはいかがでしょうか。

利用方法

- ① 利用者登録をします。香芝市役所危機管理課で受け付けています（☎0745-76-2001）
- ② 利用する前に予約センターに電話して目的地、時間を伝えてください。（☎0120-92-5799）
- ③ 迎いの車に乗って目的地に向かいます。（運賃は乗車時に支払います）
- ④ 帰りも同様の手順で予約してご利用ください。

- 運賃 1人1回乗車につき200円
（小学生100円小学生未満は無料
ただし、大人の同乗が必要です）
*介助で乗車する方も料金が必要
- 運行日 月～金曜日
（祝日・年末年始は運休）
- 運行時間 午前9:00～午後4:30
- 乗降場所 利用者の自宅前および共通乗降場所



お問い合わせは下記まで

香芝市役所危機管理課 ☎ 0745-76-2001 (代)

《賛助会員ありがとうございました》

多くの方よりご寄附いただきありがとうございました。皆様方からの寄付を施設整備等、有効に活用させていただき、ご利用者のために使用させていただきます。

《ゆらくの里》

中辻嘉子、平尾英治、西風美智子、大上供栄、増尾明広、関信

《業者・他団体ほか》

(株)ステップワン、宇田尚、吉川自動車、エスエヌシー
山口貴志(山口ガス商会)

《地域事業》

藤井宏美

《順不同、敬称略》

《賛助会員募集》

引き続き賛助会員を募集いたします。同封の振込用紙にて会費のお振込を是非お願い申し上げます。寄付金控除を受けるための領収証をご希望の方は「通信欄」にてご連絡ください。

《編集後記》

秋もいよいよ深まり朝晩の冷え込みも厳しくなってきました。今朝は庭に初霜が降り、冬の気配をすぐそこに感じました。早いもので今年も残すところ2か月足らず。そろそろ師走に向けての準備を始めたいと思っています。

発行：社会福祉法人 以和貴会

住所：〒639-0261

奈良県香芝市尼寺616番地

編集責任者：理事長 下村 卓司

Mail： office@yuraku.or.jp

発行：平成25年11月